

INFORMATION & OTHERS

栄光の赤ゼッケン復活 !? ゼッケンの数字と色に注目

4ヶ月ぶりの全日本。6月の第4戦を見に来てくれた人はもう知ってますよね。今シーズン、ゼッケンナンバーや色が大きく変わってます。コロナで今年初めて観戦するという方は、会場に着いてマシンのゼッケンナンバーを見た途端、あれれ?ってなったのではないのでしょうか。そうなんです。今年は赤ゼッケンが増えてます。

IA1、IA2、LMXのランキングトップ10、合わせて30台が赤ゼッケンを付けて走ってます。

ゼッケンの数字もチャンピオン山本鯨選手が#400とか、小島庸平選手は#44とかパーソナルナンバーを付けてましたよね。今年はそれも出来なくなりました。

MX元チャンピオン粉川樹蔵に聞いてみた
HSRはココが面白い!

みなさんこんにちは。社会人になってしばらくの間モトクロスは休み中の粉川樹蔵です。お休み中の間に、私自身もモトクロスに復帰して、今年もHSR九州大会に参加させていただきます。HSR九州大会は、私自身もモトクロスに復帰して、今年もHSR九州大会に参加させていただきます。HSR九州大会は、私自身もモトクロスに復帰して、今年もHSR九州大会に参加させていただきます。

栄光の赤ゼッケンなんて言葉をする方はオールドファンですよ。かつては赤ゼッケンこそ国際A級クラス(当時はセニアって呼ばれてました)の証でみんなの憧れだったんです。

でも今年の新ルールで使用される赤地ゼッケンはそれとは違います。初めてレースを見るお客さんに、誰が速いのか分かりやすくするために、去年のランキングトップ10ライダーは赤ゼッケンにしようってことになったんです。ただ、IBクラスは上位のライダーが昇格してなくなってしまうので、IAとLMXクラス限定。去年までは各クラスランキングトップのライダーだけが赤ゼッケンを付けてましたが、今シーズンは

スタートして赤ゼッケンライダーが後ろの方にいたら、何かア

クシデントが起きたかって思えるし、そうじゃない、大きな数字やIA昇格を果たしたルーキーが付ける01~010が前の方を走っていたら、そのライダーは相当頑張ってるって分かりますよね。ひとまず赤ゼッケンは速い。数字の小さいライダーは強いと覚えてください。

次、開幕戦九州と6月のSUGOではIA1クラスで、前回九州大会では初めてIA2クラスでも実施された15分+1周×3レースのトリプルヒートですが、今回はありません。超が付くスプリントレースも緊張感があって面白いんですが、スタートで前に出たライダーが圧倒的に有利だし、待たなしのバトルにはどうしてもリスクが伴います。スタートで出遅れてもじわじわと上がってきて、互いに様子を伺いつつ、いつ仕掛けるのかどう反撃するのか。展開を予想しながら、今回はそんな長丁場のバトルを心ゆくまで楽

しんで下さい。

感染対策しながらの観戦マナーを守って楽しんで!

感染者が大幅減少傾向にあるとはいえ、新型コロナはまだまだ油断できない状況。今回は咳エチケットはもちろん、ソーシャルディスタンスなど感染対策に留意しながらの観戦をお願いします。

今回は観客のノブック入場には制限が設けられる予定です。会場内を移動する際は、案内板やスタッフの誘導に留意してください。選手紹介でライダーに拍手を送るのはOKですが、表彰式の後などもライダーへの接近はご遠慮ください。引き続きソーシャルディスタンスに留意しつつ、その上で出店ブースでの食事やお買い物など楽しんでいただければと思います。

無限+ホンダの電動マシン登場今回は本気の走りが見れちゃう!?

レース中の途中経過は、予選、決勝を通じ、お持ちのスマートフォンで公式サービスに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることが出来ます。アドレスはこの新聞の1番下にQRコードが置いてあります。携帯スマホで写れば公式アカウントにアクセスできるはずですよ。

公式プログラムのエントリーリストとライダーのゼッケンとマシンの色を照らし合わせると、初めてレースを見る方でも徐々にどれが誰だか分かるようになってくるはず。外見でライダーの区別ができるようになると、予選、決勝レースが何倍も楽しくなります。

天候やコンディションで若干変更が出るかもしれませんが、基本土曜日は各クラスの練習走行、予選、IB Open Heat1の決勝。日曜日は練習走行のあと各クラスの決勝と、レースは朝から夕方まで延々と続きます。練習走行のタイムや予選の走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽しいですが、ず〜とレースを見続けていたらさすがに疲れますよね。そんな時はメーカーのサービスブースにも出かけてみてください。コロナ対策でサイン会などのイベントは行われないと聞いていますが、各社出店や展示ブースは

必見です。

そして今回は電動モトクロスサーのデモ走行が行われます。今回はホンダのCR-Eと無限のE.REXの2台が走行します。ライダーは共に元全日本チャンピオンの増田一将さんと川島雄一郎さん。これは単なるデモ走行だけじゃなく、本気の走りも期待できそう!?

日本が世界に誇る最先端技術。PRブースでの見学もOKとのことなので、興味のある方はお見逃しなく。タイヤメカさんや他のPRブースにもぜひ足を運んで見てください。カタログはもちろんポスターや特製のノベルティグッズが貰えちゃったりもします。スタッフさんに性能や価格などを問い合わせるのもあり。忙しい時間ではなければ必ず対応してもらえます。

スタートゲートやサインエリアではメカニックさんの仕事ぶりも見学出来ます。コースを移動しながら最適な観戦ポイントを探ってください。転倒などアクシデントが多い競技なので、ライダーは安全への配慮も怠りません。モトクロスウェアの中に着けている器具なども出店ブースでぜひご覧になってください。

シーズン終盤の展開は? MXの表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの画像やインサイドレポートを手元の携帯にお届けしている速報メールサービス「HYPER MXING」ですが、今年もやります。料金は基本タダ(笑)。現地情報からレース後の裏話などなど、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをお届けします。レースのインターバル中も様々な情報を配信します。みなさんぜひ登録ください。

編集後記

MFJ-GP = 最終戦のイメージですが今年はまだ残りあと1戦。11月末の広島... 西日本だから日没はちょっとだけ遅いのかな? さすがに雪の心配はないでしょうが、寒いんだろうなあ。タイムやランキングを争うライダーはもちろんですが、遠征するスタッフさん大変そう。特に東北北海道のチームは苦労しそうですね。それでもレースが開催されるのはありがたいこと。早く全日本が元のスタイルに戻ることを願いつつ、僕も頑張ってお届けしていきます!!
MXING & MC Square 木田 淑



全日本モトクロス選手権 2021シリーズ第7戦 MFJ-GP大会は、10月23~24日に宮城県柴田郡村田町のスポーツランドSUGOインターナショナルMXコースで開催される。約4ヶ月の長いインターバルの後、前回九州大会を経て再びSUGOへと戻って来たシーズン終盤戦。大混戦のIA1クラス、タイトル決定の可能性があるIA2とLMXクラス。熱き戦いのドラマは、一気にクライマックスの時を迎える。勝利を手にし、栄光に歩み寄るのは果たしてどのライダーだ!?

上位3名が7ポイント差でひしめき合う国内最高峰IA1

新型コロナ感染拡大の影響で第5戦近畿大会が中止となり、前7戦で争われることになった今シーズン。国内最高峰IA1クラスは、ディフェンディングチャンピオンの山本鯨(#1/ホンダ)が2度のパーフェクト優勝でクラス最多の4勝をマークするものの、ポイントランキングでは、ここSUGOを得意とする渡辺祐介(#3/ヤマハ)が僅かに山本をリード。しかし両者差は僅かに2ポイント。更に渡辺のチームメイトである富田俊樹(#2)が7ポイント差で渡辺をマークする。

ポイントスケールの変更により、逆転の可能性が大きくなった今シーズン。ランキング4番手につける能塚智寛(#5/カワサキ)やランキング5番手小方誠(#4/ホンダ)にもまだまだチャンスは残されている。開幕から激しい攻防を繰り広げて来たこの5人の中で、ここSUGOで勝利を手にし、最終戦に向けタイトルを優位に持ち込むのがどのライダーか、手に汗握る熾烈なバトルにまずは注目したい。

優勝を狙うライダーはもちろん他にも存在する。東北岩手を拠点に活動する横澤拓夢(#10/ホンダ)や大塚豪太(#7/ホンダ)にとっては、上位の

5人をなんとか切り崩したいところ。前回九州大会で負傷した星野優位(#8/ヤマハ)は回復具合に不安を残すが、小島庸平(#6/ホンダ)もベテランの存在感をアピールしたいはず。ダイナミックかつテクニカルなSUGOでの戦いを誰が制するか、国内最強ライダーたちによる熱く激しいバトルに期待したい。

独走から一転窮地に陥った内田大城は大逆転での戴冠なるか!?

若手中心のIA2クラスは、開幕戦第1ヒートこそ2位に甘んじたものの、内田篤基(#4/カワサキ)がそこから5連勝をマークしてライバルを圧倒。ところが初のトリプルヒート制で行われた前回九州大会で、内田は第1ヒートの1周目に大クラッシュを演じてしまい、そのダメージから今大会のスタートに着けるか微妙な状況となっている。

快進撃から一転窮地に陥った内田に対し、一気にチャンスを引き寄せたのがランキング2番手に付けていた大城魁之輔(#2/ホンダ)だ。残り2戦4ヒート、もし今回内田が欠場し大城が両ヒート優勝すれば、両者のポイント差は最終戦の最大獲得ポイント50を超えることになり、大城のタイトルが決まる可能性がある。しかしこのクラスには今回、オースト

制作・発行/MC Square 木田 淑
〒970-1152 福島県いわき市好間町中好間田中62
Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174
E-mail: kida@mxing.com
HP:http://www.mxing.com

出力・印刷/東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住開町5-27
Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174
HP:http://www.tpc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会発行・無料

PREVIEW-MFJ GRAND-PRIX

マナーを守って楽しく観戦しよう!

- 1.入場時には検温と体調チェックに協力を
- 2.マスク着用と咳エチケットを守ろう!
- 3.声援は我慢、フラッグや拍手で応援しよう!
- 4.ソーシャルディスタンスを確保しよう!

ラリアからジェイ・ウィルソン (#106/ヤマハ) がスポット参戦。オーストラリア、ニュージランドの国内選手権で6度チャンピオンに輝いた強豪選手だけに、その存在がタイトルの方行にどう作用するか。また地元の西條悠人(#5/カワサキ)や島谷部晃太(#35/ヤマハ)らがどう絡むか注目したい。

連勝記録こそ途絶えたものの川井は連覇達成なるか?

昨シーズン4戦全勝の圧倒的な強さで新女王の座についた川井麻央(#1/ホンダ)。その勢いは今年も変わらず、開幕戦九州大会から勝ち続けた川井は、初の2ヒート制で行われた関東大会、6月のSUGOと連勝し、昨年から連勝記録を8に伸ばした。歴代最多連勝記録を視界に捉えた川井だったが、前回九州大会は、トップ立った直後にコースアウトを喫し、

ほぼ最後尾からの猛烈な追い上げも4位止まり。しかしタイトル争いで川井の優位は揺るがない。川井が今回勝てばその瞬間に連覇は確定。例え2位以下でもランキング2番手に付ける本田七海(#2/ヤマハ)の順位次第でタイトルが決まる状況だ。

川井が最終戦を待たずに連覇を決めるのか、本田や小野彩葉(#4/ホンダ)前回川井の連勝をストップさせた久保まな(#3/ホンダ)や橋本菜月(#5/ハスクバーナ)らライバルたちが川井の連覇を阻止出来るかどうか、全力での戦いを見守りたい。

IB Openクラスやジュニ、チャイルドクラスにもぜひ注目して欲しい。誰か一人のライダーに注目すると、展開の中にドラマが起きたりしてレースが何倍も面白くなる。公式プログラムで各ライダーの素顔や出身地をチェックし、地元の選手には特に、コースサイドから熱い応援を送って欲しい。

第1戦	HSR九州大会	4月10~11日	熊本県/HSR九州
第3戦	関東大会	5月15~16日	埼玉県/オフロードヴィレッジ
第4戦	SUGO大会	6月5~6日	宮城県/スポーツランドSUGO
第5戦	近畿大会	9月11~12日(中止)	奈良県/名阪スポーツランド
第6戦	九州大会	10月9~10日	熊本県/HSR九州
第7戦	MFJ-GP	10月23~24日	宮城県/スポーツランドSUGO
第2戦	中国大会	11月27~28日(延期)	広島県/世羅グリーンパーク弘楽園



株式会社アライヘルメット
〒330-0841埼玉県さいたま市大宮区東町2-12
TEL (048) 641-3825
http://www.arai.co.jp/

(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

Technix suspension service
www.technix.jp

全日本モトクロス選手権シリーズをご観覧いただいた皆様のご感想をお聞かせください。会場に着いて気になったこと、アレは良かった、ここはダメ、情報配信アプリ「グルービュー」を使ってみた感想など、気付いたこと気になったこと、どんな小さなことでもかまいません。左のQRコードをスキャンすると投稿フォームが表示されます。いただいた感想とご意見は、大会の主催者並びに競技運営チームの担当者へ責任をもってお渡します。全日本モトクロスをより良い大会にするためにぜひとも奇譚のないご意見をお聞かせください。どうぞよろしくお願い致します。

D.I.D 全日本モトクロス選手権 第7戦 MFJ-GP大会 開催おめでとうございます。

左のQRコードは、ライブタイミングとライブ動画のダイレクトリンクです。スマホでアクセスすれば、コントロールラインの通過順位はもちろん、コース反対側のトップ争いも見る事ができます。また、右のQRコードにアクセスすると、タイムスケジュール、エントリーリスト、リアルタイムリザルトの他、メーカー、チームの公式レポートやライターのFacebook、Twitter、Instagramなど全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。